

佐原地区 グループBの意見概要

ごみの分別について

- ごみの分別が徹底されていない。特にプラスチックごみの分別方法が市民に浸透していないのでは？
- 分別方法を具体的に説明する機会や場があると良い。
- 分別して収集されたごみがどのように処理されているのか不明である。処理方法や処理後の再生状況などが分かれば、分別の意識も高まるのではないかと。
- ごみが減らないのは、不要なものを買って与えている親が多いからではないかと。
- 食品ロスの削減については、地域の婦人会などと連携した取り組みが考えられる。
- ごみ減量については、個人の意識を高めることが重要。そのための情報発信の方法については工夫してほしい。

まちづくり協議会について

- まちづくり協議会として、ごみ拾いや草刈り等の活動を続けている。
- まちづくり協議会として地域の環境向上や環境美化のためにやってみたい活動は多々あるが、資金的な問題もあり協議会の運営面での改善が必要である。

樹林等の管理について

- 耕作放棄地の周囲や沿道の草刈りをどうするかが課題。草刈りが実施されていないと、小さなごみのポイ捨ても多くなる。
- 不法投棄防止には草刈り、ごみ拾い等で、捨てにくいきれいな環境を整えておくことも重要である。
- 道路上に伸びた樹木の枝を伐採する必要があるが、地権者の協力が得られないと伐採できない。
- 樹林の管理も重要であるが、人手が回らないのが実情である。

自然環境、その他について

- 自然観察会を主催しているが、市内だけでなく、近隣の市町からも参加者がいる。恵まれた自然がまだ残されており、地域の価値を知るうえでも、もっと自然観察会に参加してほしい。
- 活動グループの後継者を確保することが課題である。
- 雑木林の手入れを小学生に手伝ってもらい、落ち葉を使って腐葉土をつくりカブトムシを孵化させ、育ったカブトムシを幼稚園に配る活動を続けている。
- 近年は外来生物が目立つようになり、対策が必要である。
- 河川の浄化があまり進んでいない。合併浄化槽への切り替えを進めていかなければいけない。
- 空き地や空き家の管理をしていないところが増え、以前より環境としては荒れている。